



# 保育園

# 待機児童が深刻な事態

## 入園待ち1112名（9月1日現在の申請数：市川市）

「認可保育園の整備を理由にしながらも、

**2年間で「603名の定員増」と答弁**

市は、厳しい財政を理由にしながらも、認可保育園の整備を

私は9月市議会の一般質問で、保育園待機児童解消の問題を取り上げ、論戦を展開しました。9月1日現在、保育園の申請数は1112名。県内でもっとも待機児童数が多いのが市川市です。

**保育園の増設を強く要求**

「下の子が生まれても、同一の保育園に入れない」、4月にこうした相談を受けるほど、待機児童問題は深刻です。



9月市議会で一般質問する金子貞作：本会議場



すすめ、申請者数にも配慮する。来年4月は市川地区、八幡地区、大野地区、下貝塚地区に4園が開設、合わせて360名の定員増を予定。平成27年度には、543名、2年間で903名の定員増を図ると答弁しました。

住民の運動と議会での論戦が、認可保育園の増設を前進させています。

**実態にあわない市の待機児童数**  
国基準における市の待機児童数は、4月1日現在336名。認可外保育園に入所している場合など、申請してもカウントしません。

私は、保護者の意思を尊重し待機児童把握を正確に行うこと、地域での保育ニーズを把握し、保育園の整備計画に反映させることを求めました。

**待機児童ゼロの明確な計画を**

大久保市長は、「保育園待機児童数ゼロを目指す」と選挙で公約しましたが、解消には至っていません。

いまこそ市が待機児童ゼロの明確な計画を立て、国有地や市有地を活用して、増設の規模とテンポを抜本的に引き上げることが求められています。

## 「安心して働けない」保育園で13人退職

昨年4月、原木中山駅近くの高架下に開設した認可保育園（朝6時45分～21時半まで開園）。開設以来13人の職員（保育士11人、看護師2人）が退職し、保護者の不安が広がっています。

職員から「体調を壊した人、残業代が出ない、パワハラ」などで、安心して働けないと共産党に相談を寄せました。谷藤市議が9月議会の一般質問で取り上げ、市の責任と対策を要求。部長は「退職を真摯に受け止め、指導する」と答弁しました。

こんなことが・・・

## 保育園の補助金で不正請求の可能性

ある園の延長保育で過大請求の可能性があったことが8月発覚しました。私立保育園は32園あり、市の委託事業と補助金で運営されています。

9月市議会で私も含め多くの市議が、この問題を追及。部長は「28項目の複雑な補助金を市職員1人でチェックしていた。現在監査委員が調査している。明確になった時点で、法人に対し返還請求を行う」と答弁しました。



# 道の駅 「人が集まる『目的地型』として整備する」と答弁

9月市議会の一般質問で、外環沿線国分地区に予定されている道の駅を取り上げました。

金子 当初から赤字経営にしないため利用者増加や地域経済を活性化させる必要がある。どのような構想のもと計画しているのか。

まらづくり部長



上記イラストは国土交通省道路局ホームページ

([http://www.mlit.go.jp/road/station/road-station\\_inst.html](http://www.mlit.go.jp/road/station/road-station_inst.html)) から引用

休憩・情報発信・地域連携機能の他、本市ではさらに防災機能を加えた道の駅である。住民も利用する施設として、会議室・防災倉庫・駐車場・トイレなど、公共施設の他、直売所やレストラン施設を考えている。現在民間事業者に広く提案を求め、集客力と地域経済活性化につなげていきたい。

## 地域経済活性化費用対効果は?

金子 地域経済の活性化や費用対効果についてどのようになっているのか。

部長 道の駅は住民の福祉を向上させるた



安倍首相は、来年4月に消費税率を8%にすると表明。一方、大企業には減税など5兆円規模の「経済対策」を発表しました。国民には8兆円の大増税と社会保障切り捨てです。

## 社会保障の削減計画が目白押し

- 要支援1・2は介護保険給付から外す
- 特別養護老人ホームへの入所は要介護3以上に限る
- 所得によって介護保険の利用料を2倍に引き上げ
- 70~74歳の医療費の窓口負担を1割から2割に引き上げ
- 国保を「都道府県単位」に再編し、国保税を引き上げ
- 65歳に引き上げた年金の支給開始年齢をさらに引き上げ
- 年金を物価や賃金上昇以下に抑え込む「マクロ経済スライド」の実施
- 保育基準の改悪と営利企業の参入促進



めにも、地域との連携や市の情報発信を重視した「目的地型」として整備することにより、活性化につながる取り組み

組みを展開したい。また、費用対効果は、収益の上がらない施設は国の負担を求め市も負担して維持管理していく。直売所、レストランなど収益の上がる施設は民間事業者が負担していく。そして収益から一定の割合額を市に納入して頂ける方策を検討している。

## 市長の答弁

### 「公約より、ビックプロジェクト(大型事業)を優先した」

9月市議会で議員から、市長自身の評価と次期市長選の公約を問われた。市長は、「公約は達成半ば。厳しい財政の中、公約よりもビックプロジェクト(大型事業)を優先した。その判断は間違っていない」と述べ、「今後、市川らしさを出したい。美しい街づくりガーデニングシティや小さな市役所による効率的な市政運営を目指す」と答弁。市長はガーデニングに熱心。市役所駐車場の一部も壊し、緑化工事中です。(写真)



芋掘り体験できる畑(宮久保)

会で10月下旬、芋掘り体験を行い、美味しい芋が食べられそうです。

▼猛暑が過ぎ、やっと涼しい秋になりました。長かった9月市議会も終わりに、今度は11月の市長選挙です。大型事業優先の市政から福祉を目標とします。▼農家のご厚意により党後援会で10月下旬、芋掘り体験を行い、美味しい芋が食べられそうです。

## 編集後記

お気軽に相談を

仕事くらしの悩み

連絡先 金子貞作 337-6184 (夜間)